

## 商用 EV 向け充電システム「Hypercharger for Fleet」を発表。

蓄電池 1 台につき超急速充電器 6 台と普通充電器 30 台の同時接続に対応し、最大 120 台の車両の同時充電まで拡張可能。高圧受電不要で、簡単導入と低コスト運用を実現。



自然エネルギーの普及並びに蓄電、送電技術の進化において事業を展開する株式会社パワーエックス (PowerX, Inc.) (東京都港区、取締役兼代表執行役社長 CEO：伊藤 正裕) は、本日スマート制御やフリート最適充電機能に対応した、商用 EV 向け蓄電池型 EV 充電システム「Hypercharger for Fleet」を発表しました。本日より本製品の先行予約を開始し、2024 年第一四半期より順次出荷を予定しています。

Hypercharger for Fleet 説明動画：<https://youtu.be/Cpfkv3YBDHI>

「Hypercharger for Fleet」は、トラック、バス、タクシー等の商用 EV 車両の運行計画や電池容量に基づき、最適な充電計画を自動的に作成する、スマートな充電ソリューションです。蓄電池を搭載しているため、オンサイト・オフサイト再生可能エネルギー電源を活用でき非常時の BCP 電源としての利用も可能です。また、蓄電池は低圧電力契約での接続が可能のため、設置ハードルが低くなり大幅のコスト削減が可能です。営業所やトラックデポだけでなく、ホテルや商業施設への導入も可能です。さらに、フリート最適充電機能と組み合わせ

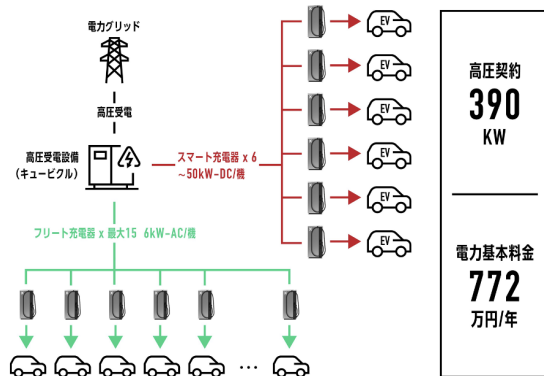
ることにより、同時により多くの台数を充電できます。蓄電池の台数も最大 4MWh まで拡張可能で、接続できる充電器をさらに増やすことで、大規模事業所の EVトラック配備にも対応できます。「Hypercharger for Fleet」は、当社の徳島工場「PowerX Tokushima Base」で自社生産され、制御ソフトウェアも日本国内で開発・制御されます。

日本政府は、2030 年度において温室効果ガスを 2013 年度比で 46%削減し、2050 年までに CO2 の排出量を実質ゼロにすることを目指しています。物流トラックやタクシー、バスなどの商用車として電気自動車を運用する場合、日中の営業時間は走行し、夜間は営業所で充電することが一般的です。しかし、日本では夜間の 8 割以上の電力が火力発電によって供給されているため、この運用では完全な商用車のゼロエミッション化を実現することはできません。ここで「Hypercharger for Fleet」は、昼間に太陽光などにより発電された再生可能エネルギーを蓄電池に貯め、夜間の EV 充電に活用できます。このように使うタイミングを選べない再生可能エネルギーを溜め、必要な時に効率的に商用車で使うことで、お客様のビジネスのカーボン・フットプリントを削減し、ゼロ・エミッション化の実現を手助けします。

## 蓄電池による電気料金の削減効果

フリート充電器15台・DC充電器6台にて比較

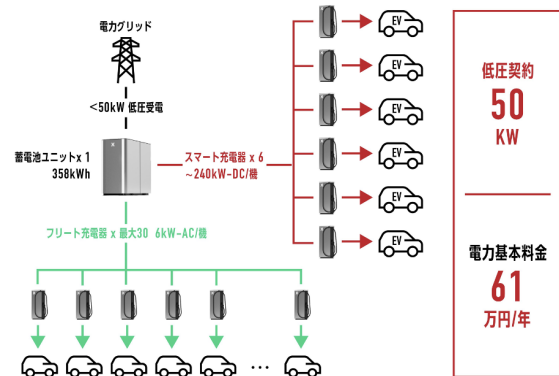
通常のフリート充電



通常のフリート充電の場合

- 出力50kWを6台+フリート充電器15機を配置した場合には契約電力は390KW。高圧契約及び高価なキュービクルが必要。
- 電力基本料金が高額。

PowerX Hypercharger for Fleet



Power Xの場合

- 最大出力50kWで同時に6台まで充電可能。
- その場合も電力基本料金は低圧のまま安価。

年間 電力基本料金

約 700 万円(△90%)削減可能

## 「Hypercharger for Fleet」の特徴

### 1. 蓄電池で商用車の充電コストを削減

蓄電池を活用することで、ピークカット・ピークシフトで、電力消費を抑制しながら系統からの低圧受電に対応可能なので、商用EV充電にかかる導入コスト・運用コストを削減することができます。また、太陽光などの再エネの余剰電力を電池に蓄えておき、クリーンな電気でEV充電することができます。太陽光を含む発電施設と組み合わせることによって自家消費はもちろん、売電することも可能です。

### 2. スマート制御機能

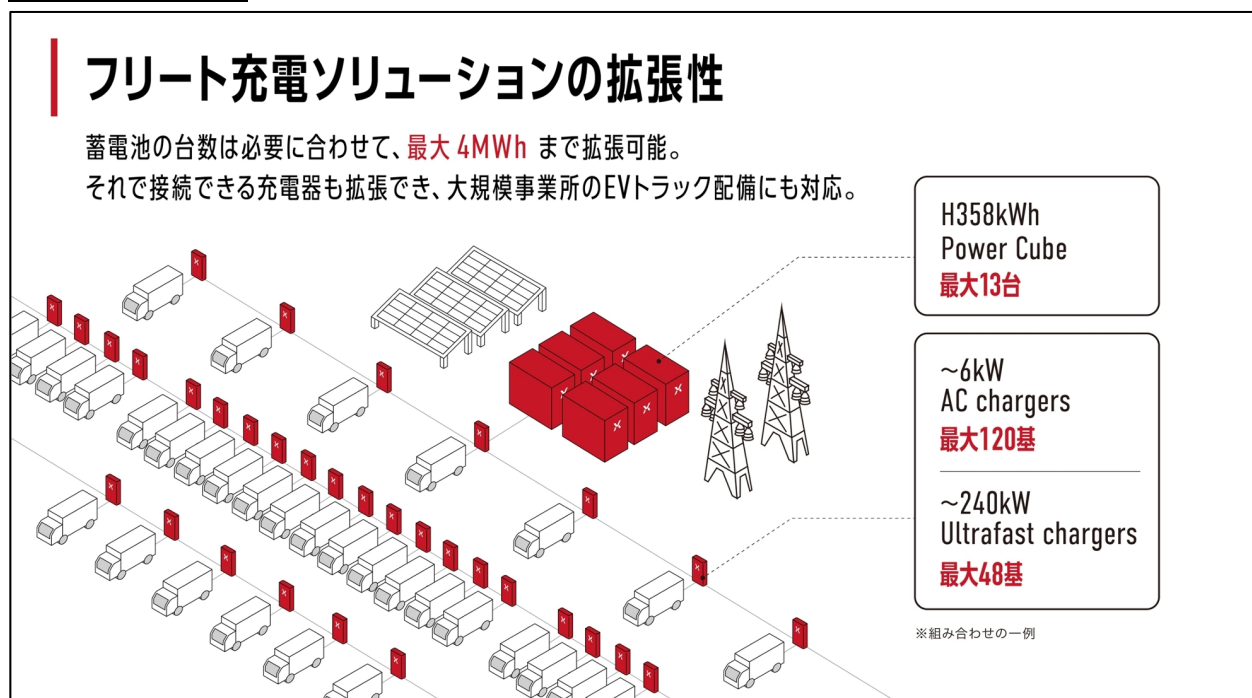
トラック、タクシー、ハイヤーなどの車両運行計画と連携し、充電速度やスケジュールを柔軟かつ自動的に管理・制御することができます。

### 3. フリート最適充電機能

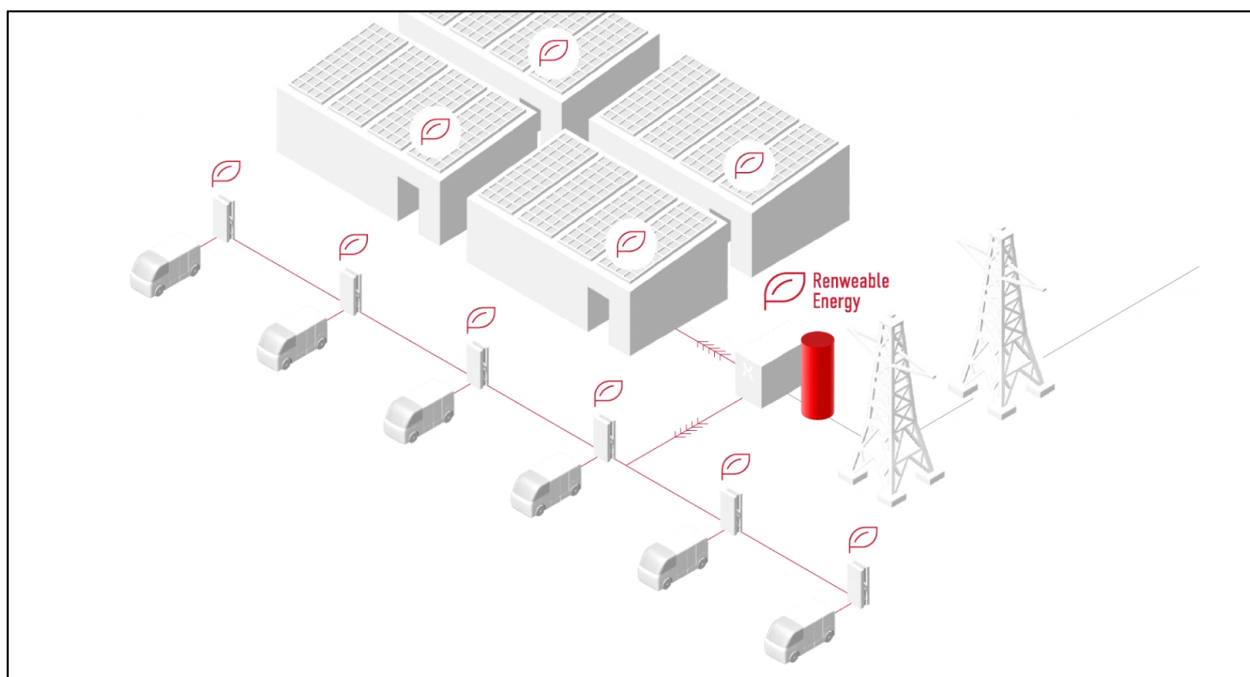
1台の蓄電池に対して、最大出力240kWのスマート充電器は最大6機、6kWのフリート充電器も最大30機の多台数に対応可能です。また、複数台のEVに対して、翌日の運行計画を踏まえてフリート充電計画を構築し、EVの充電管理の最適化を実現します。

フリート充電の系統接続量を最小化することでコスト削減することができ、工事費や契約電気料金などの削減も可能。

▽ Hypercharger for Fleet は、蓄電池1台あたり、最大出力240kWの超急速充電器は6台接続可能。また、6kWのAC充電器と組み合わせれば、さらに30台のフリート充電も追加可能。需要に合わせて蓄電池キャパシティは4MWhまで拡張でき、充電台数を増やすことができます。



▽ 再生可能エネルギーの活用：蓄電池型の EV 充電器を太陽光などの持続可能なエネルギー源を貯めて、夜間の EV 充電に活用することができます。



## 株式会社パワーエックスについて



会社名	株式会社パワーエックス (PowerX, Inc.)
設立	2021 年 3 月 22 日
代表	取締役兼代表執行役社長 CEO 伊藤 正裕
所在地	東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウンタワー43 階
事業内容	大型蓄電池の製造・販売、EV チャージステーションのサービス展開、及び電気運搬船の開発・製造
URL	<a href="http://power-x.jp/">http://power-x.jp/</a>

### 【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社パワーエックス 社長室 広報担当：大津

電話：050-1754-0205, Email：[pr@power-x.jp](mailto:pr@power-x.jp)